



産直ニュース（農・畜・水産）2週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
2週	登録いちごA			予約いちご①			予約みかん⑫		
	スイートスプリング①					ふじ⑦			
3週	登録いちごB			予約いちご②			キウイ①		
	スイートスプリング②			早生不知火①			ふじ⑧		
4週	登録いちごA			予約いちご③			キウイ②		
	伊予柑(!)	スイートスプリング③		早生不知火②			ふじ⑨		
5週	登録いちごB			予約いちご④			キウイ③		
	ポンカン①			早生不知火③			ふじ⑩		

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

1週号はお休みでした。 本年も宜しくお願いします！！

■無袋ふじ(ハケタ会)収穫状況

昨年、開花時期の遅霜によりハケタ会でもリンゴに大きな被害がでました。「ふじ」も出荷量が大きく減少する見通しの中収穫が続けられ、ようやく全体収量が見えてきた段階です。

赤沼地区は遅霜被害が大きくやはり収量は伸びませんでした。少し標高の高い豊野地区では予測よりも収量が上振れし、現在予約いただいているふじは全量確保することが出来る見通しとなっています。

若干の余剰も出そうな状況ですので、確保できれば配達時に声を掛けさせていただきます。

又、例年企画している「小玉企画」や「ジュース・加工用企画」も平年以上に出荷できそうです。

→倉庫での選果作業…寒いので少し着膨れして作業する7番：北澤聖敏さん 小玉・ジュース加工用は7週号（配布2/1週、回収2/8週）で企画します。



■登録玉ねぎ

今週から「つちから生産組合」（北海道産）の玉ねぎをお届けします。

◇干ばつの影響で例年より小さいサイズも入ります

北海道では、夏にこれまで例がない干ばつ被害が発生しました。このため一般市場で秋から出回る北海道産の玉ねぎやジャガイモの市場価格が高騰しています。

つちから生産組合（北海道）でも同様に干ばつ被害を受け、計画量の7割の収穫量となりました。（不足分は豊作だった産直南島原（長崎県）が計画量以上の出荷することで対応）

又小玉傾向であることから例年6cm（直径）のところ5cm以上（直径）に規格を変更してお届け致します。何卒ご理解お願いいたします。

◇玉ねぎは年1作の作物です

西日本の産地では3月初旬～6月一杯が収穫期となり、6月収穫の晩生種玉ねぎを冷蔵庫で貯蔵して年内の出荷をしていきます。このため、翌年分の極早生種収穫が始まる3月頃まで繋ごうとすると貯蔵中の傷みが増したり貯蔵コスト（冷蔵業者への保管料）が大きくなる為、一般市場では秋冬時期には8月から収穫期を迎える北海道産が多く出回っています。

生活クラブ関西では、産直南島原（長崎県）北阿万愛農会（兵庫県）植田さん（大阪府）の玉ねぎが途切れる12月～2月一杯の間を「つちから生産組合（北海道）」から玉ねぎを出荷して頂いています。

つちから生産組合では3農場で関西向けの玉ねぎを栽培しており、貯蔵性の良い品種を9月に収穫し暫く貯蔵してから出荷します。西日本とは違い、北海道では冬季に凍らないように貯蔵施設の断熱が施されています。